

児童学科

「心理学」「教育学」「児童文化学」
「芸術（美術・音楽）」「インクルーシブ学」の分野

色を作る

教授 片山 裕之
(専門分野：絵画)

絵画（色）遊びは子どもの感受性を養います。色彩の基本である三原色について、実技を通して理解を深めてもらいたいと思います。

エピソードで学ぶ 子どもの育ち

教授 湯澤 美紀
(専門分野：発達心理学・保育学)

子どもは科学者であり哲学者。子どものふとしたつぶやきに見る自然への鋭い洞察と時に柔らかな人間理解を、森のようちえんに通う子どものエピソードから学んでいきます。そして、子どもの育ちにとって大人の役割とは何か？ あらためて考えていきます。

感性を育む

～歌唱表現やリズム遊びを通して～

教授 池田 尚子
(専門分野：音楽)

私たち大人は、子どもたちが音楽を聴いたり表現したりするときどのような働きかけができるでしょうか。感性を育み、美しいものを美しいと感じるだけでなく、より深く感じる心は、日々の豊かな経験から育まれていきます。歌唱やリズム遊びを通して一緒に考えてみましょう。

子どもと絵画の世界

教授 小田 久美子
(専門分野：美術教育・造形)

子どもの絵に関する研究は、始まって150年ほどと、他の学問の歴史と比較すると実はそう長くはありません。20世紀を代表する画家をはじめとした、多くの現代人の心をとらえる子どもの絵とその世界の魅力を、新しい学問として一緒に考えてみましょう。

多文化と人育てを訪ねて

教授 西井 麻美
(専門分野：教育学・ESD)

持続可能な社会を作る路を、多文化と人育てを心にとめて、訪ねてみませんか。
◆約400年近く続く、ドイツの民衆劇
◆巡礼者たちが辿り着くスペインの聖地など世界で時空を経て紡がれる姿は、人育てについて様々な気づきを私たちに与えてくれるかもしれません。

算数はたくさん覚えな といけない教科なの？

准教授 杉能 道明
(専門分野：算数科教育・教育実践学)

算数は覚える教科という誤解があります。違います。少なく覚えてたくさん考えることで考える力を育てることができる教科です。これは、なぜ算数を学ぶのかという算数を学ぶ意義ともつながります。具体例をもとに一緒に考えてみましょう。

You can do it !

准教授 福原 史子
(専門分野：モンテッソーリ教育・家庭教育・小学校英語教育)

小さいころ、何かに挑戦し、夢中になって何度も繰り返し、ついにできるようになった経験はありませんか？ 自分の力でできるってステキですね。この「一人でできる！」を支える教師や保育者のあり方について、一緒に考えてみませんか。

絵本やわらべうたを 楽しもう

准教授 三宅 一恵
(専門分野：幼児教育・児童文化)

幼い子どもたちにとって、身近な大人が応答的に関わることはとても大切なことです。絵本やわらべうたの実践などはそのために欠かせないものです。子どもたちに読み聞かせたい絵本やわらべうたについて一緒に考え、子ども理解を深めていきましょう。

児童学科

「心理学」「教育学」「児童文化学」「芸術（美術・音楽）」「インクルーシブ学」の分野

一生の心と体をつくる幼児期・児童期の運動遊び

准教授 安江 美保
(専門分野：舞蹈教育・体育科教育)

逆上がりのできない子どもが、逆上がりができるようになるには、何から教えたらいいと思いますか。また、そもそも逆上がりができるようになる必要があるのでしょうか。幼児期・児童期の運動遊びについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

保育に生かす絵本選び

講師 片平 朋世
(専門分野：児童文化・幼児教育)

絵本を読んでもらうことは、「楽しい」ものです。では「楽しい」ってどういうこと？ 保育の中では、子どもが「喜び」を味わえるものを繰り返し読み、仲間と共有して活動に生かしています。事例をもとに、子どもが感じる「喜び」について考えてみましょう。

ストレスって何だろう？

講師 梶原 彰子
(専門分野：臨床心理学・心身医学)

なんだか分からないけどお腹が痛い、頭が痛いというようなことはありませんか。人はストレスを受けると、心だけでなく体に症状がでることがあります。ストレスについて体験して、学んでみましょう。

子どもと一緒に遊びを創る

—子どものつぶやきに耳を傾けて—
講師 西山 節子
(専門分野：幼児心理学・保育学)

子どもたちにとって、遊びは大切な学びの場です。保育者は、子どもたちの興味や関心をしっかり捉え、子どもたちのつぶやきをつなぎながら、子どもたちと一緒に遊びを創っていきます。保育現場での経験を基に、具体的な遊びの事例を、エピソードや写真を交えながら紹介します。保育者の仕事にはどんなことがあるのか考えてみましょう。

子どもの世界

—音・音楽とかかわって遊ぶ—
講師 藤掛 絢子
(専門分野：子ども学・保育学(表現・音楽))

乳幼児期の子どもたちは、遊びの中で、じっと音を聴き、想像を膨らませて音や音楽とかかわっています。そこには、私たちが考える「音楽」の枠組みを超えた、思考や表現の豊かさをみることができます。子どもたちの姿やその育ちを支える保育の在り方について考えます。

※インクルーシブ学を専門分野とする教員（中内・青山・土居・東）の出張講義については、インクルーシブ教育研究センターの項を、心理学を専門分野とする教員（日下）については、児童臨床研究所の項をご参照ください。

Department of Child Welfare